



頬部に小紅色斑点が散在し、尾鰭の基部が燈色(オレンジ色)なのが特徴。若狭町産 全長:約7cm

ハゼ科 ヨシノボリ属

【全長】7cm前後

トウヨシノボリ

学名: *Rhinogobius sp. OR*

分布域

ほぼ日本全国に分布する。

生息域

主に河川の中流域の礫底部に生息する。



婚姻色で体色が黒化したオス。敦賀市産

本種は幾つかの種に分離され、一時的に種として無くなり、その後に復活した種。この仲間は分類的に混迷している。県内には比較的広い範囲に分布するが、移入種の可能性がある個体群も生息する。頬部に赤色の小斑点があり、尾鰭の基部が燈色に色付く。主に河川の中流域の平瀬に生息する。産卵期は5~7月。転石の下面に産卵する。産卵後もオスが卵を保護する。孵化した仔魚は海に下り、成長後に遡上する。食性は雑食性で水生昆虫や底生動物・付着藻類などを食べる。

水槽飼育は比較的容易。餌は冷凍赤虫や配合飼料に慣れる。丈夫で飼い易いが、性格はやや荒く、他種との混泳は避けた方が無難。

在来種?

移入種?

回遊魚

※ この仲間の分類は以前から混迷し、幾つかの型や地域個体群が知られる。また、型間交雑の疑いなどもある。尾鰭の基部の橙色斑は婚姻色だと言う説もあるが、これには疑問がある。